

最近の主要国・地域の化繊生産状況

09/05/30

2009年5月30日

最近の主要国・地域の化繊生産状況

1. 概要

世界同時不況の影響を受け、世界主要国・地域の化繊生産は昨年後半より減少傾向が顕著になっている。

2009年の至近データでは、主要国・地域は概ね前年同期比2桁減であるが、その中で中国が5.6%増とポリエステルを中心に増加となっているのが注目される。またインドも主要製品であるポリエステルへの落ち込みが比較的小さく、他国・地域と比べると比較的早く、回復の兆しが見られている。

2009年の主要国・地域の化繊生産

(注) インドのNf、Celは産資用を含まない。欧州のNfは産資用のみ。

国・地域	化繊計		主要品種(前年同期比、%)					
	(1000トン)	前年比(%)	Nf	Ef	Es	Ans	Cel	期間
日本	254	-33.3	-41.8	-42.8	-37.5	-45.8	-8.1	1～4月
中国	7,587	5.6	-34.2	7.1		6.0	2.9	1～4月
韓国	200	-12.3	-11.4	-9.4	-10.7	-60.1	...	1～2月
台湾	431	-24.2	-25.1	-23.8	-13.6	-32.6	-58.4	1～3月
インド	661	-2.6	-1.1	-0.9	2.8	-12.8	-21.4	1～3月
米国	794	-25.0	-31.2	-22.2	-29.7	-	-	1～4月
欧州	...	...	-33.0	-43.0	-21.3	-32.8	...	1～3月

2. 主要国・地域の化繊生産

(1) 日本

1～4月の生産は前年同期比33.3%減の25.4万トン。前年同期の約3分の2の規模に縮小している。期間の差はあるものの、主要国・地域の中で最大の落ち込みである。4大合繊を中心に減少している。

日本の化合繊生産（1～4月）
(1000トン)
(出所) 経産省、日本化学繊維協会
(注) *その他を含む

	2008	2009	前年比(%)
ナイロンF	38.1	22.2	-41.8
ポリエステルF	85.3	48.8	-42.8
ポリプロピレンF	24.4	20.8	-14.6
ポリエステルS	64.6	40.4	-37.5
アクリルS	61.5	33.3	-45.8
ビニロンS	12.8	11.9	-6.5
ポリプロピレンS	18.7	13.1	-30.0
レーヨンS	57.0	53.0	-7.1
化合繊*	380.0	253.5	-33.3

(2) 中国

1～4月の化繊生産は5.6%増の758.7万トン。在庫調整の進展でポリエステルが7.1%増の641.1万トンと回復傾向を見せている。レーヨンも4月には期初累計で増産に転じた。一方、ナイロン、ポリプロピレン、スパンデックスは2桁減である。

化繊生産は1～2月が3.8%増、1～3月が6.1%増であったが、1～4月は5.6%増に伸び幅は低下した。欧米向けの最終製品輸出に回復の予兆がなく、化繊生産の回復も予断を許さない状況である。

中国の化合繊生産（1～4月）
(1000トン)
(出所) 中国国家统计局
(注) *その他を含む

	2008	2009	前年比(%)
レーヨン	462.9	476.1	2.9
ナイロン	511.2	336.4	-34.2
ポリエステル	5,984.4	6,411.1	7.1
アクリル	208.7	221.2	6.0
ビニロン	18.0	17.3	-4.0
ポリプロピレン	86.6	70.0	-19.2
スパンデックス	61.8	55.1	-10.8
化合繊*	7,185.2	7,587.3	5.6

(3) 韓国

1～2月の化繊生産は12.3%減の20万トン。ポリエステルの内需の落ち込みが比較的小さく、他国に比べると落ち込み幅は小さい。

韓国の化合繊生産（1～2月）
(1000トン)
(出所) 韓国化繊協会

	2008	2009	前年比(%)
ナイロンF	22.7	20.1	-11.4
ポリエステルF	113.4	102.7	-9.4
ポリエステルS	82.1	73.4	-10.7
アクリルS	9.9	3.9	-60.1
化合繊	228.0	200.0	-12.3

(4) 台湾

1～3月の化繊生産は24.2%減の43.1万トン。レーヨンSの6割減をはじめ、各品種ともに2桁減である。

台湾の化合繊生産（第1四半期）
(1000トン)
(出所) 台湾人繊公会

	2008	2009	前年比(%)
ナイロンF	84.8	63.5	-25.1
ポリエステルF	285.7	217.9	-23.8
ポリエステルS	133.5	115.4	-13.6
アクリルS	29.3	19.8	-32.6
レーヨンS	35.3	14.7	-58.4
化合繊	568.6	431.2	-24.2

(5) インド

1～3月の生産は2.6%減の66.1万トン。内需の堅調に加え、大手企業中心の構造で需給調整がしやすい環境にあることから、ポリエステルに回復の兆しが見えている。

インドの化合繊生産（第1四半期）
(1000トン)
(出所) インド合繊協会、繊維省
(注) 産資用ナイロンFおよび同レーヨンFを含まない。

	2008	2009	前年比(%)
ナイロンF	7.0	7.0	-1.1
ポリエステルF	362.4	359.2	-0.9
ポリエステルS	203.7	209.4	2.8
アクリルS	23.3	20.3	-12.8
レーヨンF	11.9	10.7	-10.6
レーヨンS	70.8	54.7	-22.8
化合繊	679.2	661.2	-2.6

(6) 米国

1～4月の化繊生産は25.0%減の79.4万トン。主力のカーペットなど国内消費の冷え込みから大幅な生産減が続いている。

米国の合繊生産（1～4月）
(1000トン)
(出所) Fiber Organon

	2008	2009	前年比(%)
ナイロンF	220.0	151.4	-31.2
ポリエステルF	149.2	116.1	-22.2
オレフィンF	318.8	253.1	-20.6
ナイロンS	52.3	34.4	-34.2
ポリエステルS	246.2	173.1	-29.7
オレフィンS	73.1	66.2	-9.4
合繊計	1,059.6	794.2	-25.0

(7) 欧州

企業データ秘匿義務から公表データが限られてきているが、公表されているデータを集計した限りでは、1～3月で全般に3割減となっている。

欧州の化合繊生産（第1四半期）
(1000トン)
(出所) CIRFS
(注) トルコを含む。

	2008	2009	前年比(%)
産資用ナイロンF	32.7	21.9	-33.0
紡織用ポリエステルF	86.4	55.7	-35.5
産資用ポリエステルF	56.4	25.8	-54.3
ポリエステルS	180.7	142.2	-21.3
アクリルS	160.1	107.6	-32.8
以上計	516.5	353.2	-31.6

(担当：業務調査グループ 杉原)